

3月29日 お花見しながらウォーキング♪
能美市 能美市民センター(能美町中町)を発着点に「え
能 たじまウォーキング2026」を開催し、真道
山を往復する約7kmのコースを約300人が楽しみ
ました。

能美市民センター(能美町中町)を発着点に「え
能 たじまウォーキング2026」を開催し、真道
山を往復する約7kmのコースを約300人が楽しみ
ました。



▶参加者の声「初めてでも安心、仲間と犬と楽しめるコース」

宮中由貴奈さん(広島市南区)に感想を伺いました。今回が初参加となる宮中さんは、仲間11人とワンちゃん11匹で参加。江田島市を訪れるのも初めてで、「これまでさまざまな場所を歩いてきましたが、今回はInstagramの広告をきっかけに参加しました」と話します。

実際に歩いてみると、「山道を想像していましたが、舗装されていてとても歩きやすかったです」とのこと。コースは急こう配も少なく、「犬にもやさしく、小型犬でも大型犬でも無理なく歩けると感じます」と評価します。

「仲間や愛犬と一緒に楽しめるのが魅力です。とてもおすすめです」と笑顔で語っていただきました。



▲オフショットは
こちら



えたじまウォーキングは、初心者から愛犬連れまで幅広く楽しめるイベントとして親しまれています。次回はぜひ参加してみたいかたがでしょうか。

4月1日 第11期江田島市地域おこし協力隊
新たに4人の地域おこし協力隊が着任

今年度から新たに4人の地域おこし協力隊が着任し、4月1日(火)に土手市長から辞令書が交付されました。

この度着任された地域おこし協力隊は3年間の活動期間中に地域課題解決のため、それぞれの活動を行います。

【第11期江田島市地域おこし協力隊】

- プロモーション推進員 西尾国弥さん
- 沖まちづくり協力隊 前谷圭祐さん
- 観光事業総合プランナー サミーラ クマーラさん
- 大柿高等学校活性化コーディネーター 前田脩人さん



▲左から、西尾さん、前谷さん、サミーラさん、前田さん

4月7日 春の全国交通安全運動
交通安全啓発活動を実施

春の全国交通安全運動が行われ、江田島市交通安全協会、江田島警察署、認定こども園おおがきの園児など70人が、認定こども園おおがき付近の県道で安全運転を呼び掛けました。園児が「運転に気を付けてください」と、笑顔でドライバーに交通安全啓発品を手渡しました。

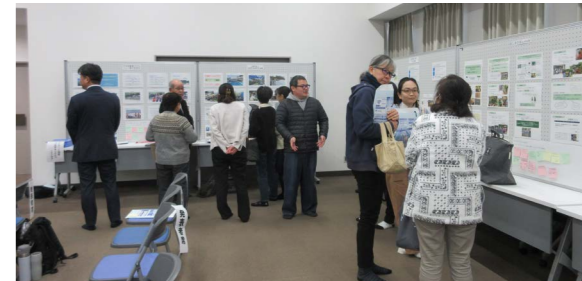


3月14日 魅力あふれるまちづくりの報告会
第6回えたじま地域づくり実践者報告会を開催

大柿市民センターに市民ら約60名が集いました。この報告会は、活動紹介や意見交換を通じて、地域活動の活発化や参加者同士のつながりづくりを図るために実施しているものです。

当日は、地域提案型活動支援補助金の採択団体や大柿高校自然科学部、地域おこし協力隊が活動を報告。廃校施設を活かした賑わいづくりや、コンポスト・竹炭を活用した環境への取組に加え、里海・里山を活用したコミュニティづくり、多文化共生の推進など、地域を元気にするための多彩な活動が発表されました。また、来場者が付箋で応援メッセージを届けたり、パネル展示の前で発表者を囲んで語り合ったりするなど、会場はあたたかな交流の場となりました。

参加者からは「市内の活動を知る良い機会になった」「同じ方向を向いて協働したい」などの感想が寄せられました。



3月12日 福祉施設を視察
市女性会連合会が「支部会長研修」を実施

市女性会連合会の支部会長12名が、社会福祉法人 誠心福祉会(宮ノ原)の施設見学を行いました。

特別養護老人ホームや有料老人ホームヴィラせいしんえん、昨年改築されたデイサービスセンターなど、さまざまな施設を視察。参加者は、同一法人内で多様な介護サービスが提供されている様子に、「これほど多くの事業内容や施設があるとは知らなかった」と、その幅広さに感銘を受けた様子でした。

デイサービスセンターでは最新のリハビリ機器を体験し、「支えられているから軽いわ。体が伸びて気持ちがいいね!」と笑顔がこぼれる場面もありました。

質疑応答では、利用料金や待機状況、人材確保の現状などについて質問が寄せられ、介護現場の実情を深く学びました。参加した支部会長からは、「地域の福祉を肌で感じる事ができた。この経験を今後の活動に活かしたい」との感想が寄せられました。



3月21日 全国のハマショーファンが集結
浜田省吾さんの初恋サミット in 江田島を開催!

京尤部交流プラザで「浜田省吾さんの初恋サミット in 江田島」を開催しました。

当日は松山大学人文学部准教授 植田佳宏先生による講演「My First Love」の問いかけ～初恋のきた島 江田島から～」が行われ、ゆかりのバス停がファンによって守られた経緯などが語られました。

後半にはトークセッションも行い、ファンがそれぞれおすすめの曲をDJ風に紹介するとともに、思い出のエピソードを交えながら、浜田省吾さんへの想いを共有しました。

会場は約150人のファンで満員となり、音楽を通じてファン同士がつながる機会となりました。





ETAJIMA GoON! Vol.56

シニア CISE 女子代表

おがわ つよし 小川 剛史 さん

【団体紹介】
CISE バasketボールスポーツ少年団
毎週火・金曜日午後6時～8時
毎週土曜日午後5時～8時
すべて市スポーツセンターで練習しています。

“考動” (考えて動く)

「ドンマイドンマイ」「ナイシシュート」アリーナにこだますることもたちの活気のある声とボールの音が響く中、温かい眼差しと柔らかい口調で指導する小川剛史さんの姿があった。広島市出身の小川さんは、島の病院おたにへの就職を期に江田島市での生活を始めた。もう28年になる。娘さんがバスケットをしていて関係で、CISEバスケットボールスポーツ少年団の創設当初からアシスタントコーチとして関わり、現在はメインコーチとして子どもたちを指導している。CISEは小・中学生が中心のチームで創設11年目を迎えた。創設10年目の昨年は、初めて県大会にも出場した。「県大会出場は子どもたちにとって刺激になった。強い相手と試合をすることで、今のままでは勝てない子どもたち自身が思うようになりました。」と振り返る。これまでの11年は順調ではなかった。メインコーチになってからは、どう教えないかわからない、交流もないので練習試合も組んであげられない、おまけに



人数が少ない時期もあった。苦勞の積み重ねと周りのサポートのおかげで県大会出場できるチームまで成長した。少子化で部活動やスポーツ少年団が維持できない現状にある中、子どもの多さにビックリした。「ありがたいことに、県大会出場後、体験入部が増えました。」思わぬ相乗効果も、嬉しい限りだ。江田島市内の中学校にはバスケット部はない。キャリアの中断はしようもない課題なのかも知れないが、小川さんは、「違うスポーツで活躍する子もいる。(バスケットでなくても)活躍してくれるとうれしい。」と笑顔で応える。「今年卒業した子がアシスタントコーチになりたいと言ってくれた。」指導者としてはこの上ない言葉だ。

取材に伺った日も、子どもたちが小川さんの元に來て明るく挨拶をしていた。勝手に「優しいコーチ」のイメージを持った。「昔、自分の子の自主練の際に、強く言ってしまったことがある。娘はやりたくないとなつてしまい、失敗だったなと思つた。」スポーツにおいても子育てにおいても指導は難しい。「スポーツはミスが多い。そんなとき『ドンマイ』と言って仲間を許す。その切り替えは意識して指導しています。」

創設者が掲げた理念は「考動」と「感謝」。試合中はもとより、今何をすべきか子どもたち自ら「考えて動く」。小さい子がまた小さい子を世話し上級生となつていく。中学・高校で楽しい思いを更新して、いつか故郷に帰つて来てほしい。ずっと続けられたらと小川さんは言う。まだ一歳の娘さんがいる保護者の方に「10年後もこの子を見てほしい。」と言われおり、その言葉に背中を押されながら、バスケットボールの輪を広げている。そんな日が来るまで自身もバスケットを続け、汗をかく姿に胸が熱くなった。

団体紹介

CISE バasketボール少年団



Instagram

江田島市 Basketball協会



Instagram

お仕事紹介

島の病院おたに



Instagram

3/23月 大古小学校4年生「総合的な学習」避難所運営シュミレーション

大古小学校4年生が総合的な学習として、児童主体の災害時における避難所運営のシュミレーションを行いました。

学校・地域・市社会福祉協議会・市が連携して実施した今回の避難所運営シュミレーションでは児童・関わる大人相互に学びの多い時間となりました。

児童からは「災害がおこった時、今日の学びを活かして自分も行動したい」との意見があり、関わった大人からは「小学生が地域のために一生懸命に学び、シュミレーションに取り組む姿に、大人ももっと懸命に地域のために取り組む姿勢が必要だと改めて実感した」との意見がありました。

大古小学校4年生は1年を通して「福祉」について勉強し、これまでに「高齢者疑似体験&車いす体験」「避難所備蓄資材体験」「避難所レイアウト計画」などを学び、集大成として今回のシュミレーションを実施しました。



4/4土 悲しみの雨が降る中での開催 中町遺族会慰霊祭

能美町中町にある忠魂碑において中町遺族会による慰霊祭が行われました。満開の桜の下、悲しみの雨が降る中での開催となりましたが、当日は14人の中町遺族会の方が参加しました。

戦後80年を迎え、遺族の高齢化が進む中、中町遺族会では毎年慰霊祭を開催し、会員や女性会などが協力し合い、墓地の清掃活動を行っています。



江田島バス(株)



バス運転者募集中!!

路線バス及び貸切バス(兼任)の運転者を募集しています!! 採用条件等、詳しくはお問い合わせください。

☎お電話でのお問い合わせ (0823) 27-5585

🌐 <https://etajimabus.jp/>
江田島市大柿町飛渡瀬 80-1



広告

江田島動物病院

☎ 090-8142-4107

往診料 無料

お電話一本でご自宅までお伺いします。(往診車の中でも診察可能です)
■ ワクチン・フィラリア予防
■ 点滴・お薬の処方など
お気軽にご相談下さい。
※基本的に獣医師が1人でお伺いしますので、副い主様にお手伝いをお願いしています。

往診専門の動物病院
診療日時：月～金 8:00～17:00
休診日：土・日・祝日



フィラリア予防 狂犬病予防接種の季節が始まります!



広告

獣医師 福田 健